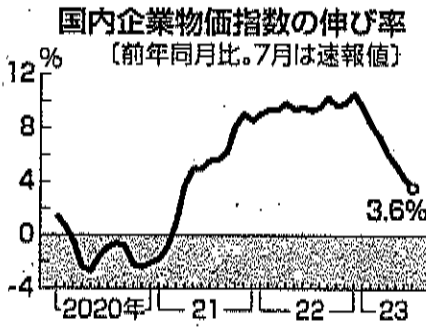


# 7月企業物価 3.6%上昇

## 29カ月連続 原材料高騰を転嫁

日銀が10日発表した7月の国内企業物価指数（速報値、2020年平均1100）は119.3となり、前年同月比3.6%上昇しました。プラスは29カ月連続。伸び率は7カ月連続で縮小し、21年3月以来、2年4カ月ぶりの低い水準となりました。原材料価格の高騰によるコスト上昇分を価格転嫁する動きは続いているものの、資源価格の下落などを背景に上昇ペースは緩やかになっています。

企業物価指数は、企業間で取引されるモノの価格を示します。調査対象515



品目のうち、上昇品目数は436品目でした。分野別では、原材料価格や資材価格のコストを転嫁する動きが続き、飲食料品が6.1%上昇。パルプ・紙・同製品が14.9%上昇、輸送用機器が3.0%上昇となり

ました。一方、電力・都市ガス・水道、化学製品はともに3.3%下落しました。

円ベースで見た7月の輸入物価指数は14.1%低下し、4カ月連続でマイナスとなりました。契約通貨ベースでも15.6%低下しました。

企業物価指数は前月比では0.1%と3カ月ぶりにプラスとなりました。円建てで見た原油市況が6月に上昇したことを背景に、ガソリンなど石油・石炭製品が押し上げに寄与しました。